

②進捗状況調査シート(生涯スポーツ推進計画・令和5年度分)

No	事業名	担当課	基本施策	事業目的	事業内容	成果指標	成果指標に設定されている目標値			令和5年度実績値	進捗状況	現状分析	令和6年度以降の方向性
							平成30年度実績値	6年度までに	11年度までに				
1	公園などの遊具の活用	市民スポーツ課	1-2-① 3-2-②	市民が日ごろから体を動かす習慣を見つけられるよう、身近な公園に設置してある健康遊具を市民に周知や活用を図る。	ウォーキングマップを作成し、市民の健康づくりの意識を高めるため、公園遊具の所在地や活用を周知する。	「うらやすウォーキングマップ」の認知度(%) (市民意識調査)	—	—	—	—	—	現在、配布は行っておらず、今後も配布を再開する予定がないため、平成29年度より廃止しました。	廃止
1-2	幼児期体力向上支援事業【令和4年度から開始】	市民スポーツ課	1-1-① 1-2-① 3-1-①	運動公園施設と指定管理者が持つ運動指導のノウハウを活用し、幼児に楽しく運動をするプログラムを提供することで、幼児期における体力向上と生涯にわたり健康を維持する運動習慣の基盤をつくることを目的とする。また、併せて施設利用の向上も図る。	市が所有するマイクロバスを活用し、市内認可保育所等に通う園児を対象に各園と運動公園までの送迎を行う。	プログラム参加人数(人)	—	7,380	9,056	5,772	C	うらやす財団の運動指導のノウハウを生かし、幼児の年齢に応じた運動プログラムを実施し、体力向上につながっています。庭園のない又は狭い認可保育園にの園児にとっては体をめいっぱい体を動かせる良い機会になっています。しかし、市内の認可保育園・認定こども園・幼稚園の中にはこの事業と同様の趣旨のプログラムを実施している園もあり、参加人数を増やすには運動公園施設の特性を生かしたプログラムの工夫が必要です。	継続
2	健康づくり事業	公民館	1-2-①	市民の健康づくりのために、地域の身近な場所で運動ができるよう、事業の開催や場の提供を行う。環境の提供や主催事業を実施する。	主な事業として高齢者を対象にした「おたっしや体操」、幼児から高齢者までを対象にした「体育館・運動室の一般開放」、小学生から対象にした「クライミング事業」を常時実施している。	各公民館の運動事業延参加者数(人)	20,434	18,000 23000	18,000 25300	15,402	C	体育館や運動室の一般開放や「クライミング教室」等の事業に加え、新たに障がいのある人が運動できる「チャレンジスポーツ」を実施した。目標値に届かなかった原因や課題として、事業の実施日程の検討や周知方法が挙げられる。なお、現状に合わせて目標値の見直しを実施する。	継続
3	トップスポーツチームの講演会やスポーツ教室事業	市民スポーツ課	2-1-④ 2-2-①	市内を拠点とするトップスポーツチームと連携を図り、講演会やスポーツ教室等の実施により市民のスポーツへの関心を高める。	市内イベントでの市民とのふれあいやスポーツ関係団体への講演会、さらには、小中学校を対象としたスポーツ教室を実施する。	小・中学校でのスポーツ教室の実施校(校)	10	15	20以上	100	A	ブリオベッカ浦安、バルドラール浦安、浦安D-Rocksの3チームとも積極的に認定こども園・保育園・小学校を訪問しスポーツ教室を開催しました。令和5年度は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類から5類になったことにより、各チームとも訪問回数が増えトップスポーツ選手と子ども達と触れ合う良い機会になりました。また、スポーツフェアの際も運営に協力していただきました。	継続
5	少年スポーツ団体活動支援事業	市民スポーツ課	1-3-① 2-2-② 4-1-② 4-2-①	多くの子どもがスポーツ競技に取り組めるよう、少年スポーツ団体の活動を支援する。	少年野球、サッカー四種、ジュニアゴルフ、ジュニアテニス、リトルシニアの5団体の活動を支援する。	各団体会員数の合計(人)	2,200	2,400	2,500	1,900	C	少年スポーツ団体活動支援事業については、少年スポーツ団体の育成・競技力向上及び青少年のスポーツ振興を図るため、各スポーツ少年団体の活動補助金の交付しました。今後も補助金交付により支援を行い、各種競技団体の活動の充実を図ります。	継続
6	少年親善スポーツ大会	青少年課	2-2-②	浦安市青少年相談員連絡協議会が主体となり、スポーツを媒体として、児童相互の交流を図るとともに、活動を通じて豊かな心を育み、青少年の健全育成を図る。	スポーツを通じて児童交流と体力づくりを目的とし、令和元年度まではドッジボール大会を実施していた。令和2年度から、モルックという競技に変更した。	参加者数(人)	292	300 100	350 100	91	B	老若男女問わず楽しむことができる「モルック」を競技として取り入れたことで、多くの方が参加できるイベントとなっている。令和6年度においても、市内の児童、生徒がスポーツを通じて家族の絆や友情を深めるとともに、心と体を健全に育む事業として継続していく。なお、青少年相談員連絡協議会において、施設の利用規模や参加者の安全管理の観点から、今後定員を100人とする事が決定されたため、目標値の修正を行いました。	継続

No	事業名	担当課	基本施策	事業目的	事業内容	成果指標	成果指標に設定されている目標値			令和5年度実績値	進捗状況	現状分析	令和6年度以降の方向性
							平成30年度実績値	6年度までに	11年度までに				
9	運動公園の再整備	市民スポーツ課	3-1-②	運動公園の各施設について、運動公園機能検証報告書及び市民ニーズを踏まえ、施設の機能転換等について検討し、全ての市民が親しみ楽しむことができる施設へと展開していく。	運動公園の各施設について、運動公園機能検証報告書及び市民ニーズを踏まえ、施設の機能転換等について検討し、全ての市民が親しみ楽しむことができる施設へと展開していく。	計画に基づき整備を行う。	調査・検討	整備	計画見直し	—	B	令和4年度に浦安市社会体育施設長寿命化計画を策定し、この計画に沿って大・中規模改修を行います。 小規模の改修工事については、運動公園テニスコート木製ベンチ座板交換工事、運動公園軟式野球場A面1塁側防砂ネット設置工事、運動公園テニスコート人工芝張替工事、運動公園テニスコートE面前シェルター設置工事、運動公園野球場ベース回り人工芝張替工事、運動公園スポーツコート防球ネット補強工事、運動公園軟式野球場B面フェンスネット張替工事、運動公園スケートボード場排水補修工事、運動公園軟式野球場A面3塁側防砂ネット設置工事、運動公園内高圧ケーブル撤去工事総合体育館空調設備改修工事、バルドラール浦安アリーナバスケットゴール改修工事、バルドラール浦安アリーナ弓道場師範席床改修工事を行いました。引き続き市民ニーズを捉え運動公園の再整備について検討します。	継続
10	スポーツ施設のバリアフリー化事業	市民スポーツ課	3-1-②	市内の誰もがスポーツ施設において、スポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設の改修等を行う。	手すり設置、通路の勾配改修、避難出口設置、アスファルト舗装整備等を実施する。	運動公園内複数箇所	検討	整備	—	—	B	令和5年度はバリアフリー化の工事は行っていません。必要に応じて整備していきます。	継続
11	スポーツ施設の維持補修事業	市民スポーツ課	3-1-②	安全で快適に利用出来るスポーツ施設の提供と、財政の健全化に向けた効率的・効果的な改修、維持、管理等により、スポーツ施設の長寿命化を図る。	スポーツ施設の修繕や改修を行う。	スポーツ施設の長寿命化を図る。	—	—	—	—	B	令和4年度に浦安市社会体育施設長寿命化計画を策定し、この計画に沿って大・中規模改修を行います。 小規模の改修工事については、美浜運動公園テニスコート人工芝張替及び日除け設置工事、今川球技場放送設備改修工事、舞浜テニスコート人工芝補修工事、J.COM浦安少年野球場物置設置工事、美浜テニスコート門扉補修工事、J.COM浦安少年野球場野球場放送設備改修工事、高洲南テニスコート時計設置工事、KG軟式野球場防球ネット改修工事、高洲中央公園テニスコート日除け等補修工事、J.COM浦安少年野球場BSO電光掲示板増設工事、J.COM浦安少年野球場三塁側門扉等補修工事、今川球技場本部棟上部ネット設置工事、J.COM少年野球場レフト側外野フェンス壁面等補修工事、今川球技場駐車場区画線補修工事、高洲中央公園テニスコートフェンス及び門扉補修工事、J.COM浦安少年野球場3塁側観覧ベンチ補修工事、プリオベッカフィールド明海管理棟シャッター等補修工事、中央公園軟式野球場BSOカウント制御器修繕、総合公園球技場サッカーゴール修繕、中央武道館2階事務室他非常照明器具修繕を行いました。引き続き市民ニーズを捉えスポーツ施設の補修について検討します。	継続
12	東京ベイ浦安シティマラソン	市民スポーツ課	1-1-① 4-1-① 4-1-②	生涯スポーツ健康都市の宣言趣旨に基づき、スポーツを通して市民一人ひとりが生涯にわたって心身ともに明るく健康であることを目指して実施する。また、一人でも多くの市民がランナーを支え、市民が盛り上げる大会を実現し、スポーツ振興に繋げていく。	例年、2月の第一週の日曜日に開催。 種目：3km(一般、中学生、小学生5.6年)、10km、ハーフマラソン 定員：3km 1,000人、10km1,500人、ハーフマラソン 3,500人	東京ベイ浦安シティマラソンにエントリーした人の当日参加率(%)	88.8%	90%以上	90%以上	76.9%	C	令和5年度のマラソン大会は、令和4年度と同様に3kmの部・10kmの部の2種目を実施しました。当日の運営にはスポーツ協会、スポーツ推進委員連絡協議会、浦安市立小中学校体育連盟などのボランティアに支えていただきました。しかし各団体とも会員の減少や会員の高齢化、教員の働き方改革等の課題があり、今後このような形のボランティアでの運営は困難になることが予想されるため、運営方法の見直しも必要です。 また、一部の参加者からはハーフを望む声もありましたが近隣住民・事業者の負担も大きいことから、多様な意見を取り入れながら、市民に親しみのある大会を検討します。	継続
13	浦安スポーツフェア	市民スポーツ課	1-1-① 1-2-② 4-1-①	市民が気軽にスポーツに親しみ、生涯にわたって心身ともに明るく健康な生活を送れるよう「体育の日」の時期に合わせて開催する。また、日本における大規模な国際大会の開催を契機に、市民のスポーツへの機運を高めるため実施する。	国際大会競技大会推進事業(例：ボルダリング、VRフェンシング、車いすバスケットボール、自転車競技)、有名人イベント、スポーツ体験・チャレンジコーナー(市内スポーツ団体種目・レクリエーション種目)、ステージ公演イベント、屋内水泳プール・キッズスポーツルーム無料開放	浦安スポーツフェアでの体験者数(人)	12,674	13,000	13,300	11,444	B	スポーツフェアでは、ニュースポーツ・アーバンスポーツ・インクルーシブスポーツに触れる良い機会になりました。これらのスポーツに親しみを持ってもらい、身体を動かすきっかけとなるようPR方法等を検討し、今後も継続していきます。 また、浦安D-Rocksやバルドラール浦安の協力も得られ、トッププロスポーツ選手と触れ合う機会にもなりました。	見直し継続
14	スポーツ施設運営事業(指定管理の活用)	市民スポーツ課	1-1-① 3-1-① 3-2-②	市民のニーズに応じたスポーツ機会を提供するため、スポーツ施設の効率的な運営を図る。	指定管理者制度を活用し、市民のニーズに応じたイベントを開催する。	指定管理施設数(施設)	3	検討	全て	3	B	指定管理者制度を導入している施設では、スポーツ競技の経験者や指導者資格を有する職員を配置し、市民ニーズに応じた専門性の高いイベントを開始しました。 導入をしていない施設については引き続き、指定管理者制度を検討します。	継続
15	スポーツ協会活動支援事業	市民スポーツ課	1-1-② 1-3-① 4-1-② 4-2-①	市民誰もがそれぞれのニーズあったスポーツに取り組める機会の提供や、健康増進、競技力の向上を図る。	スポーツ協会に対し、補助金交付の他、活動に関する助言等を行い、団体活動の支援を行う。	スポーツ協会の会員数(人)	13,349	13,500	13,600	13,179	B	スポーツ協会の運営は各種競技団体の役員が担っています。市民大会もスポーツ協会が運営することで、競技者目線で開催できるため、大会運営がスムーズに行えています。 しかし、各種競技団体が高齢化等により会員数が減少している団体もあるため会員の確保が課題です。	継続

No	事業名	担当課	基本施策	事業目的	事業内容	成果指標	成果指標に設定されている目標値			令和5年度実績値	進捗状況	現状分析	令和6年度以降の方向性
							平成30年度実績値	6年度までに	11年度までに				
16	浦安クリテリウム実施事業	市民スポーツ課	1-1-③	市内外の人に浦安を知ってもらふ機会とするとともに、自転車競技の普及を図る。	クリテリウム実行委員会の開催、公式ホームページ作成、実施要項の作成、クリテリウムの運営、参加者周知など	クリテリウムの参加者数(人)	—	500	700	—	B	実行委員会を2回開催し、開催日時やレース内容、コースなどについて各委員からの専門的な意見を参考に、浦安クリテリウム開催に向けた検討材料を得ることができました。また、コース検討調査を行い、より正確な距離計測を行うとともに安全性の確認をしました。	継続
18	スポーツ推進委員連絡協議会支援事業	市民スポーツ課	1-2-③ 2-2-① 2-2-② 4-1-②	スポーツ推進員の活動をとおり、市民が身近な場所でスポーツができる機会を提供するとともに、ニュースポーツ種目の普及を図る。	市内を中央地区、新浦地区の2地区に分け、公民館等においてスポーツ推進委員がヘルスパレーボール、インディアカなどのニュースポーツを普及する活動を行う。	スポーツ推進委員の数(人)	29	35	35	25	C	これまでの活動に加え、うらやす財団やスポーツ協会と協働することで様々なイベントに協力をしスポーツ推進委員活動のPRを図り、新たなスポーツ推進委員の担い手の発掘を行いました。	継続
19	軽スポーツ大会	市民スポーツ課	1-2-③ 1-3-②	市民誰もが取り組める軽スポーツ(ニュースポーツ)の普及・振興を図り、市民の健康増進及び体力向上を図る。	ドッチビーやミニバレーボールなどの軽スポーツの種目を普及・振興を図る。	軽スポーツ大会の参加者数(人)	—	—	—	—	—	令和5年度で廃止しました。今後はスポーツフェアでニュースポーツ・インクルーシブスポーツに触れる機会を設け、市民の誰もが体を動かすきっかけとなるよう努めます。	廃止
22	市民大会の実施	市民スポーツ課	1-3-② 4-2-②	市民の競技力向上やスポーツを通じて市民が交流する機会を提供する。	教育委員会主催事業として、浦安市スポーツ協会へ委託し、スポーツ協会加盟団体の運営のもとに市民大会を実施する。 スポーツ協会加盟団体:32団体 レプリカ、賞状の作成	市民大会1回の参加者数(人)	9,223	9,300	9,400	19,621	A	市民体育大会の実施については、市教育委員会・スポーツ協会との共催事業とし、加盟団体の運営のもと、春・秋を中心に各種競技の市民体育大会を行うことで、市民がスポーツを親しみ、楽しむことのできる機会と場を提供します。 令和5年度は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類から5類になったことから、参加者が増加傾向にあります。	見直し継続
23	少年スポーツ大会の実施	市民スポーツ課	1-3-② 4-2-②	子どもの競技力向上やスポーツを通じて交流する機会を提供する。	教育委員会・少年スポーツ団体(少年野球)の共催事業として、少年野球連盟の運営のもとに市民大会を実施する。 少年野球大会レプリカ、賞状の作成	市民大会1回の(1部、3部)合計参加チーム数(チーム)	24	25	26	23	B	少年体育大会実施については、市教育委員会や少年スポーツ団体との共催事業とし、少年スポーツ団体の運営のもと、春・秋を中心に各種競技の少年体育大会を行うことで、青少年がスポーツを親しみ、楽しむことのできる機会と場を提供します。 より多くの青少年に参加いただけるよう、引き続き団体との連絡調整を行います。	継続
25	県民・関東・全国・国際大会補助事業	市民スポーツ課	1-3-③	スポーツ関係団体(個人含む)で県民大会等に出場する個人又は団体に対し、経費の負担軽減を図るため、交通費等を補助する。	県民大会強化費、県民大会派遣費、全国大会・関東大会出場補助金、国際大会等出場賞賜金(世界大会、アジア大会など)	国際大会出場賞賜金交付件数	4	6	8	14	A	令和5年度は15件の申請がありました。今後も引き続き全国・関東大会や国際大会に出場する選手に補助することで、市民のスポーツ振興に努めます。	継続
26	オリンピック・パラリンピック等選手育成事業	市民スポーツ課	1-3-③	オリンピック等を目指す高い意欲や意識のある優秀な選手の育成を図るとともに、市民のスポーツに取り組む気運の醸成を図る。	選定委員会から選出された育成選手について、旅費、用具、合宿費、会場使用料、指導者の招聘、運搬費、その他のうち、10万円を限度として交付する。	オリンピック・パラリンピック等選手育成補助金交付人数(人)	12	13	14	6	C	市内の優秀な選手6名に補助金を交付しました。今後もオリンピック・パラリンピックを目指す高い意欲や意識のある優秀な選手の育成を図るとともに、市民のスポーツに取り組む気運の醸成を図ることを目的とし、浦安市補助金等交付規則(昭和53年規則第10号)及びこの要綱に基づき、補助金を交付します。	継続
27	トップスポーツチームの観戦	市民スポーツ課	2-1-①	本市を活動拠点とするトップスポーツチームと千葉ロッテマリーンズのイースタンリーグが開催されるなど、身近にトップレベルのスポーツに触れられる機会が充実していることから、これらのトップスポーツチームと連携・協力し、活用していくことで、より多くの市民のスポーツへの関心を喚起していく。	浦安D-Rocks(ラグビー)の応援バスツアー、バルドラール浦安(フットサル)やプリオベッカ浦安(サッカー)のホームゲームの観戦、千葉ロッテマリーンズ(野球)のイースタンリーグが年1回開催。	本市を拠点とするトップスポーツチームのホームゲームの観客動員数(人)	—	20,000	22,000	35,455	A	プリオベッカ浦安が2023シーズンよりJFLに昇格したことで、JFLの規定によりプリオベッカ浦安競技場で公式戦が開催できなくなり、習志野市の秋津サッカー場等でホームゲームを開催しています。これまで市内で開催されたホームゲームを指標としていたため、D-Rocksのホームゲームを指標からのぞいていましたが、このような事情からホームゲームであれば市外で開催されたものも指標に加えることとしました。 バルドラール浦安のホームゲームや千葉ロッテマリーンズのイースタンリーグ公式戦の市内での開催。浦安D-Rocksの応援バスツアーを開催するなど「みるスポーツ」を実施しました。今後はプリオベッカ浦安の応援バスツアーも開催する等引き続き「みるスポーツ」の充実を図ります。	継続

No	事業名	担当課	基本施策	事業目的	事業内容	成果指標	成果指標に設定されている目標値			令和5年度実績値	進捗状況	現状分析	令和6年度以降の方向性	
							平成30年度実績値	6年度までに	11年度までに					
28	フットサル全国リーグ支援事業	市民スポーツ課	2-1-① 2-2-①	浦安市総合体育館をホームアリーナとし、全国のフットサル界トップリーグとなる「Fリーグ」に継続して参戦している。過去11年間で、連続して年間1万人を超える観客を動員しており、スポーツでより一層の地域活性化を図るためホームゲームにおける「応援環境」を整備する。	映像・音響オペレーター並びに進行ディレクターを配置し、よりクオリティの高い興行を提供し、会場の雰囲気・応援態勢を整備することで地元チームのホームゲームを盛り上げる「地域密着」の演出を図る。	ホームゲームでの観客動員数(人)	10,000	11,000	11,500	11,591	A	浦安市を活動拠点とするトップチームはD-Rocks、バルドラール浦安、プリオベッカ浦安の3チームあり、様々なスポーツと触れることを目的にトップスポーツチームの観戦事業に統合します。	継続	
29	スポーツ関係団体への情報発信	市民スポーツ課	2-1-②	スポーツ協会等、スポーツ関係団体と連携、協力した情報発信を図り、本市のスポーツ推進を図る。	市からスポーツ関係団体等へ国や県の動向を発信するとともに、市民大会や各スポーツ団体主催のスポーツ事業を広報うらやすやホームページなどに掲載し、市民への周知を図る。	-	-	-	-	-	B	特段指標はないが、広報への掲載依頼をとおして、市内スポーツ団体と連携して事業の周知等を行いました。引き続き、関係団体と調整し、情報発信を行います。	継続	
30	公共施設予約管理システム事業	市民スポーツ課	2-1-③ 3-1-①	市民がいつでも、どこでもスポーツ施設の予約ができるよう環境を整備する。	インターネットを通じて市民がスポーツ施設を予約することができる公共施設予約システムを運営する。	システム更新の実施	-	システム更新	-	検討	B	令和5年度より準備を進め、令和6年度中にプロポーザルを実施する予定です。より市民が使いやすいシステムを構築します。	継続	
31	生涯学習情報提供システム運営事業	生涯学習課	2-1-③	市民がいつでもどこでもスポーツに取り組めるよう情報入手できる環境を整備する。	スポーツイベント等に関する情報を発信する。	生涯学習情報提供システムへのアクセス数(件)	7,994	15,000	18,000	19,059	A	生涯学習情報提供システム「まなびねっとURAYASU」は、令和元年度に公民館の講座等の申込みができるようになり、それ以降アクセス数が増加し、令和5年度も、令和6年度までの目標値を上回った。 また、令和5年度は、システムの更新を行ったことで、スマートフォンやタブレット端末で画面が見やすくなるなど、市民の利便性が向上した。 利便性を向上させ、アクセス数を増やすことで、スポーツ関連の情報収集の促進を図ることができることから、今後についても、引き続き、スポーツ施設の情報や講座・イベント等の情報などを効果的に発信していく。	継続	
35	学校体育館開放事業	市民スポーツ課	3-2-①	市民のスポーツする場の拡充を図るため、小・中学校の体育館や校庭を市民団体に開放し、スポーツ機会を提供する。	小・中学校の体育館や校庭を市民団体に開放する。利用団体の自主性を高めるため、学校ごとに運営協議会を設立し、学校清掃等に協力してもらい、利用団体としての自主性を高めている。	利用者数(人)	270,300	270,400	270,500	269,880	B	令和5年度は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類から5類になったことから、利用人数がコロナ前に戻りつつあります。現在、各小中学校の体育館の利用が飽和状態にあるため、新規の団体が入りにくい状況です。利用にあたっては、施設を半面ずつ使ってもらったり、隔週で使ってもらなどの工夫が、今後必要になるかもしれません。	継続	
38	みんなのスポーツの集い	市民スポーツ課	4-1-①	市民が気軽にスポーツに親しみ、スポーツを通して市民が交流できる機会を提供する。	スポーツ推進委員連絡協議会が主体となって、市民が気軽にスポーツに親しめるイベントを運営する。	みんなのスポーツの集い参加者数(人)	-	-	-	-	-	-	みんなのスポーツの集いはポッチャなど障がい者も一緒に楽しめるインクルージブスポーツをメインに実施していたが、スポーツフェアの規模を大きくし、インクルージブスポーツも体験できるようになったため、事業を令和2年度に統合しました。	廃止
41	総合型地域スポーツクラブ支援事業	市民スポーツ課	4-1-② 4-2-①	総合型地域スポーツクラブ設立を目指す地域支援の促進を図る。	各地域で活動しているスポーツ用品等を支援する。	総合型地域スポーツクラブ数(クラブ)	6	7	8	6	B	総合型地域スポーツクラブ支援事業については、市内6つのクラブの代表者により構成されるウラスポユナイテッドを通じて支援を行い、各クラブの活動を振興させることにより、多くの市民の方々への貢献ができるよう、引き続き支援を行います。	継続	
49	スポーツ交流事業	市民スポーツ課	4-2-②	本市とオーランド市の両市民の交流、親善及び国際理解の推進を図る。また、災害協定を締結している下妻市と新発田市と、スポーツを通して両市民の親善と友好を深めるとともに、両市のスポーツ振興を図る。	オーランド市にマラソン選手の派遣：4名、下妻市、新発田市は、隔年で会場を変更し、男女小学生を対象にスポーツ交流を図る。(サッカー、ラグビー、剣道、バスケットボール)	スポーツ交流事業種目数(種目)	4	6	8	0	C	令和5年度は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類から5類になりましたが、オーランドへ選手を派遣するための大会である東京ベイ浦安シティマラソンのハーフの部が実施されなかったため、本市からの派遣は中止となりましたが、オーランドからのマラソン選手は4名の受け入れを行いました。	継続	